

とっとり観光ニュース 2018年6月号

1. 山の日特集！

【山の日記念全国大会 in 鳥取】

平成28年から8月11日が「山の日」として祝日になりました。これを記念し、中国地方最高峰の「大山(だいせん)」で、『山の日記念全国大会 in 鳥取』が開催されます。当日は、大山エリア(大山国体広場)、米子エリア(米子市公会堂～えるモール)の両会場で、大山の豊かな恵を満喫し、参加・体験いただけるイベントが催されます。



新緑の大山

＜米子城跡エクスカージョン(ミニ登山)＞

- 日 時 8月10日(金)午後8時～9時(ANAクラウンプラザホテル集合・解散)
8月11日(土・祝)午後5時～6時(米子城跡柵形集合・解散)
- 内 容 ライトアップされた米子城天守閣(標高90.1m)から大山、日本海、中海を一望するミニ登山。
- 参加費 無料(募集締切:7月31日(火)※定員なし)
- 問合せ 米子市文化観光局文化振興課 電話 0859-23-5438 ホームページ <http://mountainday-tottori.jp/>

＜日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市～米子・加茂川の地蔵さん巡り～」＞

- 日 時 8月11日(土・祝)午後3時15分～4時30分
- 会 場 米子城下町巡り(米子市公会堂集合・解散)
- 内 容 日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」を構成する「加茂川の地蔵巡り」など、米子の城下町を巡る下町観光エクスカージョン
- 参加費 無料(募集締切:7月31日(火)※定員なし)
- 問合せ 米子市文化観光局文化振興課 電話 0859-23-5438 ホームページ <http://mountainday-tottori.jp/>

【大山の大献灯(だいけんとう)】

かつては「火の神岳」とも呼ばれ、霊山としても有名な大山では、大山寺をはじめ、大神山神社奥宮の参道等に献灯と約100本の和傘が幻想的な光景を映し出します。今年は、開山1300年祭を記念して例年より期間を拡大して実施されます。

- 日 時 8月10日(金)～13日(月)(和傘演出あり)
14日(火)、15日(水)(和傘演出なし、法要のみ)
24日(金)～26日(日)(和傘演出あり)
9月22日(土)～24日(月・休)(和傘演出あり)
いずれも午後7時30分～9時30分(最終入場)
※荒天時や強風時は中止となる場合があります。
- 場 所 大山寺山門～神社参道～大山寺本堂(大山町大山)他
- 料 金 300円(小学生以下無料)
(当日午後5時から大山寺参道中ほどで販売)
- 問合せ 大山町観光案内所 電話 0859-52-2502
ホームページ <http://tourismdaisen.com/>



大山寺と和傘(上)と参道に設置された和傘(下)

【船通山(せんつうざん)の宣揚祭(せんようさい)】

鳥取県日南町と島根県奥出雲町との県境にある標高1,142mの船通山は、神話「ヤマタノオロチ」の舞台として知られています。山頂には、スサノオがオロチを退治した時に尾から出た剣「草薙剣(くさなぎのつるぎ)」が出土したことを記す「天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)出願の地」の碑が建立されています。

毎年7月28日には神事「宣揚祭」が行われ、神楽「剣の舞」が奉納されます。山頂付近では、国の天然記念物に指定されている樹齢1,000年を超える「イチイの木」を見ることができます。



奉納神楽「剣の舞」



山頂での神事の様子

■日 時 7月28日(土)午前10時30分

■会 場 船通山山頂 (登山口に駐車場有、当日、JR生山駅午前8時10分発で登山口まで無料バス運行)

■問合せ 日南町観光協会 電話 0859-82-1715 ホームページ <https://www.nichinan-trip.jp/>

2. 夏休みのイベント特集！

【浦富海岸(うらどめかいがん)元気フェスティバル岩美花火祭り】

岩美町の夏を彩る「浦富海岸元気フェスティバル」では、屋台や楽しいステージイベントが開催されるほか、夜には漁火の灯る海上に大輪の花火が打ち上げられます。海上から花火を楽しむ花火遊覧船が運航され、水面に幻想的な世界が広がります！

■日 時 7月28日(土) ※小雨決行(荒天時は7月29日(日)に延期)

ステージイベント:午後5時30分、花火打上:午後8時

■会 場 浦富海水浴場(岩美町浦富)

■問合せ 岩美町観光協会 電話 0857-72-3481

ホームページ <http://www.iwamikanko.org/>

○花火遊覧船

■料 金 大人1,000円 小学生500円(順延の場合は中止)

■問合せ 山陰松島遊覧株式会社 電話 0857-73-1212

ホームページ <http://www.yourun1000.com/>



海上から打ち上げられる花火

【湯梨浜町(ゆりはまちょう)水郷祭】

東郷湖畔で開催される「水郷祭」は、地元の伝統的な踊り「浪人踊り」や「灯籠流し」が開催されるほか、湖面を彩る大花火が夏の夜空を華やかに映します。

■日 時 7月22日(日)

オープニングイベント:午後5時30分、花火打上:午後8時30分

■会 場 湯梨浜町東郷湖畔公園(湯梨浜町旭)

■問合せ 湯梨浜夏まつり実行委員会事務局(湯梨浜町役場企画課内)

電話 0858-35-5311

ホームページ <http://www.yurihama.jp/site/matsuri/>



東郷湖面を彩る打上花火

【境港みなと祭】

日本有数の漁港、境港の夏の風物詩「みなと祭」が開催されます。たくさんの漁船が神輿や太鼓を乗せて、境水道を航行する「みなとのまち大漁パレード」は迫力満点です。夜は、海上に映る花火が夏の夜空を彩ります。

■日 時 7月22日(日)大漁パレード:午前10時、花火打上:午後8時

■会 場 境港駅前駐車場特設ステージ(境港市大正町)他

■問合せ 境港市観光協会 電話 0859-47-3880

ホームページ <http://www.sakaiminato.net/>



境水道を航行する大漁パレード

【鳥取しゃんしゃん祭】

4,000人を超える踊り子が、色鮮やかな因州和紙と鈴で飾った華麗な和傘で舞う「一斉傘踊り」は、「しゃんしゃん」と鈴の音が響く中、美しい傘の花が鳥取の市街地に咲き誇ります。翌日には「市民納涼花火大会」が開催され、多くの人で賑わいます。

■日 時 [前夜祭] 8月13日(月)午後5時～8時30分

[一斉傘踊り] 8月14日(火)午後4時～9時

■会 場 若桜街道、智頭街道他(鳥取市)

[市民納涼花火大会]

■日 時 8月15日(水)午後7時～9時

■会 場 千代河原市民スポーツ広場(鳥取市古市)

■問合せ 鳥取しゃんしゃん祭振興会 事務局(鳥取市上魚町)

電話 0857-20-3210

ホームページ <http://tottori-shanshan.jp/>



「一斉傘踊り」の様子 [提供] 鳥取しゃんしゃん祭振興会

【とっとり花回廊サマーフェスタ】

日本最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」では、「ハイビスカス」や「ヒマワリ」「ブルーサルビア」などが楽しめる「サマーフェスタ」が開催され、鮮やかな花々が園内を彩ります。

また、8月の週末を中心に月明かりをイメージした「ムーンライトフラワーガーデン」が開催されます。夜にしか咲かない花「サガリバナ」をはじめ、柔らかい照明が照らし出す花や木の美しさを是非ご覧ください。



鮮やかなハイビスカス



花畑一面に広がるブルーサルビア



ムーンライトフラワーガーデン

■期 間 7月14日(土)～8月26日(日)

■開園時間 午前9時～午後5時(最終入園 午後4時30分) ※夜間営業日は午後9時まで営業

■休館日 6月まで無休、7月、8月毎週火曜日(※8月14日は除く)

■入園料 大人1,000円 小中学生500円(4月～11月)

大人700円 小中学生350円(夜間営業日 午後5時以降の入園料)

■問合せ とっとり花回廊(南部町鶴田) 電話 0859-48-3030 ホームページ <http://www.tottorihanakairou.or.jp/>

3. とっどりの旬の食材！

【岩ガキ】

鳥取の夏を代表する食材「岩ガキ」は、冬に獲れる真ガキと異なり産卵前のカキの身が大きくなる初夏からお盆にかけて旬を迎えます。水深10m付近の素潜り漁等で獲られた天然ものは、ミネラルやビタミン類が豊富で「海のミルク」と称され肉厚でとてもジューシーです！大きいもので長さ20cm、重さ1kgにもなり、殻長が13cm以上のものには、「夏輝(なつき)」ブランドのラベルを付けて販売しています。

■漁期 6月～8月



ブランド牡蠣「夏輝」

【シロイカ】

初夏から秋にかけて一本釣りされるケンサキイカを地元では「シロイカ」と呼びます。鮮度が良いと皮が透けて内臓が見えるくらいの透明感があり、身は柔らかく、イカの甘みが強く、濃厚な味わいが人気の鳥取の夏を代表する食材です。刺身はもちろん煮付けや揚げ物など、いろいろな調理法で味わえます。

■漁期 6月～11月



新鮮な「シロイカ」の刺身

【とっどりのすいか】

大山山麓の豊かな土壌で育ち、甘みたっぷりの「鳥取すいか」は、全国有数の生産量を誇ります。

<大栄(だいえい)西瓜>

県内で最も生産量の多い北栄町(旧大栄町)は、100年以上前からすいか栽培を行う全国屈指の名産地です。有機物を多く含んだ土「黒ぼく」や、大きな寒暖差による気候が、大玉で糖度が高く、甘いシャリ感たっぷりのすいかとなります。認知度も高く、全国ブランドとして平成20年に「大栄西瓜」という名称で商標登録されています。

<倉吉極実(くらよしごくみ)西瓜>

極めた実で「極実」という名前のすいかは、本来の味にこだわり、苗の育成等、手間暇をかけて栽培されています。とても甘く、シャリ感と皮が薄いのが特徴で、品質が高く倉吉市の名産品として定着しています。

<がぶりこ>

黒い皮が特徴で、種が少なく「ガブリ」と食べられることからこの名がつけました。とても甘く、糖度が13～14度と一般的な品種より1度から2度高いのが特徴です。

■収穫期 6月～7月

■問合せ 鳥取県食のみやこ推進課 電話 0857-26-7853

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/syokunomiyako/>



大栄西瓜



倉吉極実西瓜



がぶりこ

平成30年5月25日発行

〔とっどり観光ニュース〕

鳥取県内の最新イベントや観光情報をご案内しています。マスコミ、旅行会社の皆さまをはじめ、多くの方に活用いただけるよう定期的にお届けします。複製・転載可です(著作権表示が付いている記事等は除く)。また写真はイメージです。ご不明な点はお問い合わせください。バックナンバーは、ホームページよりご覧ください。

〔編集・発行・問合せ〕公益社団法人 鳥取県観光連盟

電話 0857-39-2111 FAX 0857-39-2100 E-mail kanren@tottori-guide.jp

鳥取県の観光情報ホームページ → とっどり旅の生情報 <http://www.tottori-guide.jp/>